

# 企業強みの研究

## プラスチック製透明ケースの「先駆者」として 開発力と製造技術で業界に旋風を起す。

株式会社開伸



<http://www.k-kaishin.co.jp/>

しめ縄がヒントの折り曲げ技術

高品質の透明ケースが量産可能に

高級ワインや化粧品、雑貨類など、グ  
レード感を訴求したい商品を包むプラ  
スチック製の透明ケース。広めた立役者  
が、長浜市の株式会社開伸だ。

プラスチック製透明ケースは紙の箱  
と似た要領で作られ、ペットボトルの原料  
に使うA-PEET(非結晶ポリエチレン  
テレフタレート)やPP(ポリプロピレ  
ン)のシートを型で打ち抜き、罫線(折り  
目)を入れ、箱形に折り曲げて、端を接  
着する。いたってシンプルな工程なの  
が、「シャープな折り目がくつきり入り、  
優美なシルエットを表現できるケース」  
を製造できる企業は国内を探してもご  
くわずか。他社が模倣できない技術が随  
所に秘められている。

その筆頭が、細かな縄目状の隆起を



多様な商品に使用される、シャープな仕上がりの透明ケース

折り目に沿って刻む「縄文罫線」  
だ。一般的な罫線はミシン目状の  
模様を刻むが、材料の分子が圧  
縮されて固くなり、折り曲げる  
のに力がいり、元に戻ろうと  
する力が働き膨らむので、美しい  
フォルムのケースにできない。

橋本忠社長はこの課題を解決  
しようと、1年余り悩み抜いた  
末に、参拝を欠かさない地元  
の神社で、ふと目にとまったしめ  
縄にヒントを得て、縄文罫線を思  
いついた。

ポイントは罫線部にかかる圧力  
を分散させることだ。縄目模様  
にすることで、ごく軽い力で折り曲  
げられ、ひっぱり強度も強くなっ  
た。しかも仕上がりはシャープだ。  
組み立て作業も機械対応できる  
ので、一段の効率化につながった。

直販を重視する営業スタイルで

酒類、化粧品など取引先は500社

橋本社長とプラスチック製ケースの  
関わりは長い。2001年に59歳で開伸  
を設立する以前は、大手樹脂メーカー  
に在籍し、1961年頃からこの分野の  
研究に従事。わが国に透明ケースを普  
及させた先駆者の一人だ。

「メーカー退職後は、アドバイザーの  
立場で業界への貢献を志したが、蓄えた  
経験をケース製造に生かす方が社会の  
ためになると考えて、開伸を立ちあげた。  
縄文罫線の考案も、透明ケースの用途  
をさらに広げることが目的だった」。

縄文罫線の開発により、商品に高級感  
を演出できる包装ケースが実現でき、酒  
類や化粧品、医薬品等の業界から注目を  
集め、取引先が着実に増えていった。現  
在の販売先は約500社。直販を重視す

る橋本社長の方針で、オリジナルデザイ  
ンのサンプル品を積極的に提案するな  
ど、攻めの営業スタイルを貫いている。  
「包装材料の業界は価格競争に陥りや  
すい。どの販売先にも付加価値の高い  
開伸のケースは「別格」と考えていた  
けているので、値引きの競争を避けてこ  
られた」。

透明ケースの欠点を解消する

印刷ができて、キズがつきにくい

プラスチック材料とケースを知り尽  
くした同社は、縄文罫線以外の独自技  
術も数多く持っている。巻物状のシート  
に印刷ができることもその一例だ。国内  
のケースメーカーのほとんどは板状  
シートにオフセット印刷するが、巻物  
を平たくできる技術を持つ開伸は、凸版  
印刷で肉厚の印刷が可能。透けにくく、  
高級感のある仕上がりになる。

「起業時から生産設備の大半を自社  
設計してきたからこそ、それができる。  
当社ならではの知恵が随所に織り込ま  
れているので、美しく仕上がり、歩留ま  
りも良く、生産コストでも高い競争力を  
実現できた」

主要素材A-PEETはキズがつきやす  
い性質があり、最大の難点だったが、最  
近、それを解消できる新技術を開発した。  
特殊な表面加工によって、商品梱包時

輸送時に生じる擦りキズをシャットアウ  
ト。「これは当社のケースの競争力をさ  
らにレベルアップさせるもので、今後の  
成長性が楽しみだ」。「無キズ透明ケース  
『シャープケースa』と名づけたこの新  
商品に、橋本社長は大きな期待を寄せる。  
少量容器の流れを変革する

「Vパック」開発で勢いづく

ディスプレイバックを「存じだろわか。  
まん中でパカッと割れて、手を汚さず  
にケチャップやドレッシングなどをホット  
スナックやサラダに滴下できる容器の  
ことで、外食・テイクアウト文化の拡大  
とともに消費量が伸び続けている。

同社はこの分野にも挑戦。開口部に縄  
文罫線を応用することで、容器の表面  
フィルムをフラット化して凸凹をなくし、  
画期的な容器「Vパック」を開発すること  
に成功した。「この種の容器はまだ需  
要が伸びるから、表面をフラット化すれ



神社のしめ縄からヒントを得た「縄文罫線」

ば広告にも利用でき、PR媒体としての  
価値は計り知れない。また、充填方式に  
制約があるため空気が入り、調味料の賞  
味期間を延ばせないという業界の課題も  
解決できる手法も併せて考案した。新  
工場の建築資金や設備資金には「しがぎ  
ん」ニュービジネスサポート資金を活用。  
発売前にもかかわらず、「Vパック」には  
各方面からの問い合わせが絶えないとい  
う。橋本社長は、これに透明ケースとは  
まったく異なるビジネスモデルを適用し  
て、もう一つの収益源に育てる考えだ。



既存のケースの欠点を特殊加工で解消  
「無キズ透明ケース『シャープケースa』」

さらに、建材分野の新商品「ストーン  
コーナー」は石灰岩を主原料とした環境  
配慮型クロス下地補強材。ニュービジ  
ネスを表彰する「しがぎん野の花賞」を今  
年2月に受賞した。また、農業分野では  
水耕栽培用フィルムのシートを開  
発した。これらはすでに販売し好評を得  
ている。「どちらも『Vパック』と同様に、  
縄文罫線をケース以外の分野に生かそ  
うと開発した。多方面に手を広げ始めて  
はいるが、当社が透明ケースと共に歩む  
ことは今後も変わらないだろう」。

Profile

株式会社開伸

- 本社/長浜市西上坂町1013-1
- 設立/2001年
- 資本金/1,000万円
- 従業員数/50名
- 事業内容/透明ケースの製造販売



取締役社長  
橋本 忠氏

Voice

ディスプレイバックの課題を克服できたと自負する  
「Vパック」は、調味料や化粧品、医薬品など  
あらゆる流体の包装を変えてみよう。  
石油価格に影響されにくいA-PEET製であり、  
安全で廉価に作れるなどの特色も自慢です。